

## 新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、  
ご利用いただきたくご案内いたします。  
弊社におきましては、皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽  
を重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほど、  
よろしくお願い申し上げます。

敬 白

### 記

#### ■実施日

平成 27 年 4 月27日（月）ご依頼分より

#### ■新規項目内容一覧

項目コード (統一コード)	検査項目	検体量	容 器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
6521 8	アクアポリン2 (AQP2)	部分尿 2.0	Y	冷蔵 (28日)	事前 にご確 認 ください		ELISA	(ng/mg・CRE)	尿沈渣中にもア クアポリン2が 存在するため均 一に攪拌し、沈 渣も含めてご提 出ください。

## ● アクアポリン2(AQP2)

尿濃縮に関わる水チャネル、アクアポリン2を特異的に測定する研究項目です。

アクアポリン2 (AQP2) は、腎臓の集合管に存在する膜たんぱく質であり、水を選択的に透過させる水チャネルとして尿濃縮において重要な役割を果たしています。

AQP2の生理活性は、抗利尿ホルモンであるバソプレシンに依存しています。血中バソプレシン濃度が上昇すると、細胞内の小胞に貯蔵されているAQP2は、管腔側の細胞膜表面に輸送され、集合管の水透過性の上昇により体内に水を再吸収します。バソプレシン濃度が低下すると、AQP2は再び細胞内に取り込まれ、水の再吸収は抑制されます。

本項目は、尿中に排泄された小胞膜上に存在するAQP2を特異的に測定します。その値は、尿崩症などの尿濃縮力が低下する疾患で減少し、心不全、肝硬変、SIADH (バソプレシン分泌不適切症候群)などの体液貯留がみられる疾患では増加することが報告されています。

### ▼ 疾患との関連

● 腎性尿崩症 ● 心不全 ● 肝硬変

### ▼ 関連する主な検査項目

● 抗利尿ホルモン(ADH)(AVP)

### ▼ 検査要項

検査項目名	アクアポリン2(AQP2)
項目コードNo.	6521 8
検体量	部分尿 2.0 mL
容器	Y(尿用容器)
保存方法	冷蔵保存してください
所要日数	事前にご確認ください
検査方法	ELISA
基準値(単位)	(ng/mg・CRE)
検査実施料	未収載
検査判断料	未収載
備考	尿沈渣中にもアクアポリン2が存在するため均一に攪拌し、沈渣も含めてご提出ください。

### ●参考文献

佐々木 成：臨床検査 57(6)：637～641. 2013.